

西東京市男女平等参画情報誌

パリティ Parité

2020.2

Vol.24

特集

セクシュアリティはグラデーション

多様な性を理解する社会へ



- P6 西東京市子ども相談室「ほっとルーム」ができました!
ステキに男女平等参画! in 西東京「女性の活躍」編
- P7 パリティ・ライブラリー / パリティだより
- P8 悩みなんでも相談

男女平等参画社会は、男女が共に様々な分野で活躍できる社会です。
仕事も生活も楽しめる、そんなライフスタイルについて考えてみませんか。



セクシュアリティは グラデーション

～多様な性を理解する社会へ～

セクシュアルマイノリティの有名人がテレビ番組を賑わしていたり、映画やドラマで主人公役を演じるのを目にするようになり、各自治体や企業、教育の現場ではセクシュアルマイノリティへの対応、取り組みが少しずつ広がりつつあります。今回は、セクシュアルマイノリティを正しく理解いただくために、特にLGBTについて取り上げ、その現状を知り、課題を共有していきたいと思います。

セクシュアルマイノリティ
(性的少数者)とは

新聞や雑誌で目にするが増えたLGBT。「セクシュアルマイノリティ(性的少数者)」の総称として使われる語ですが、これは【図表1】で表されているように四つのセクシュアリティ(※1)の頭文字を並べたもので、性的指向と性自認の類型をいいます。性的指向とは、どのような性別の人に恋愛感情・性的関心を抱くかというものです。性自認は、自分の性をどう認識しているかの感覚をいいます。

このほかに、自らの性的指向や性自認がまだよくわからない、あるいは決めてしまいたくないという人もいて、そうした人たちは総じてQ(クエスチョニング)という類型でとらえられています【図表1】。

私たちの性は男女どちらかにきつぱりと分けられるような単純なものではなく、様々な要素から成り立っており、ひとりひとりにそれぞれの性(性的指向)と性自認(性自認)があると言っても過言ではないのです。

しかし、現実には多くの人が、人間には男女どちらかしかおらず、異性に惹かれるのが自然と捉えている

ために、それに当てはまらないLGBTの人たちが様々な困難に直面してしまうのです。

LGBTの困りごと

企業による調査によれば、目下日本でのLGBTの割合は、人口のおよそ8.9%といわれます【図表2】。LGBTに関わる情報が増え、自らのセクシュアリティに気付く人が加われば、今後この割合は増えるでしょう。とはいえ、少数派であることには変わりありません。カミングアウト(自らの性的指向や性自認を公にすること)の有無に関わらず、LGBT当事者は学校や職場などで様々な困りごとを抱えているのが現実です。

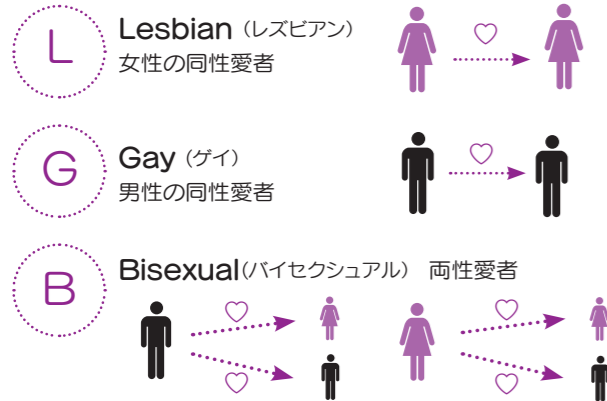
LGBT法連合会によれば、たとえば学校や家庭では、「男のくせに」など、仕草や言動をからかわれたり、教師や親に相談しようとしても、彼らにLGBTについての正しい知識がないばかりに、言いかけても逆に一方的に非難されたり、病気だから治療するようにと言われたりしています。就労場面では、カミングアウトしたとたん周囲から孤立したり差別や嫌がらせを受けたりして、はては退職、



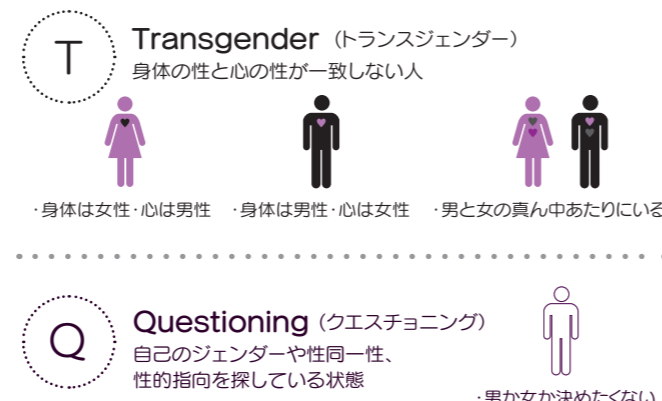
図表1

「性的指向」と「性自認」 = SOGI(※2)

性的指向=「好きになる性」



性自認「心の性」

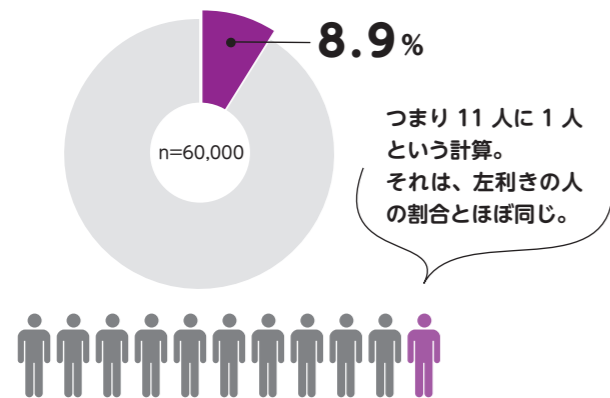


(※2) SOGI(ソジ)とは、Sexual Orientation and Gender Identityの頭文字を取った言葉で、日本語では「性的指向」と「性自認」を表すものです。

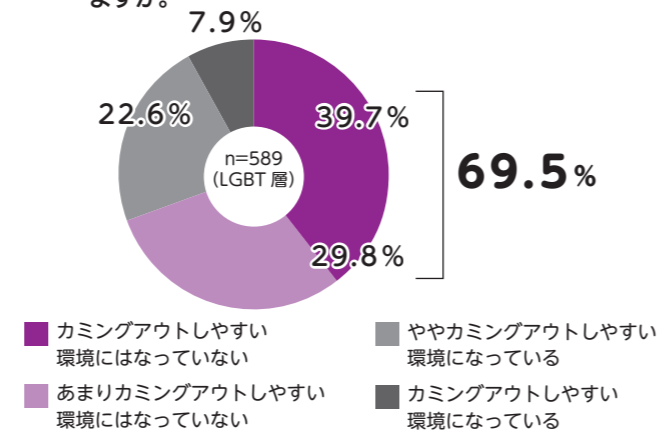
図表2

ご存知ですか？ LGBTの現状

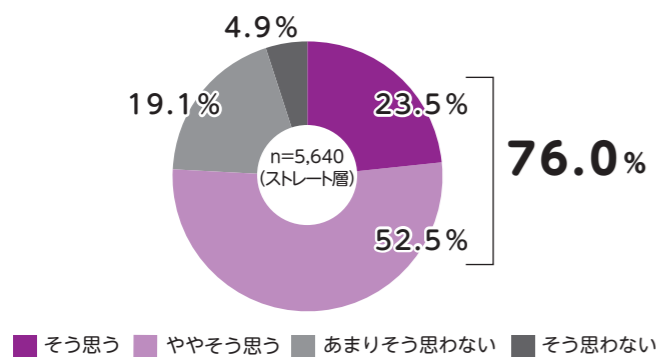
Q.1 日本のLGBT層の割合 (ストレート(※3)を除く、LGBT、その他セクシュアリティ)



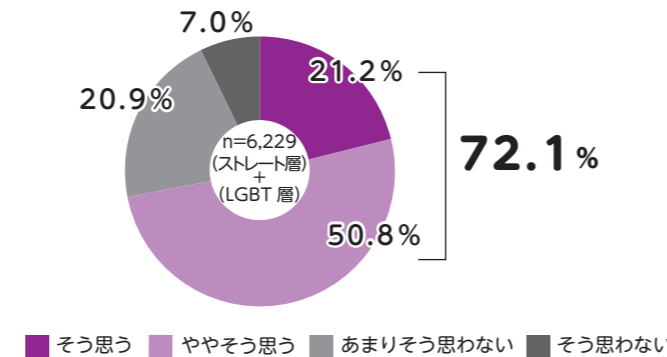
Q.2 以前に比べて、近年周囲の人にLGBT当事者であることをカミングアウトしやすい環境になっていると感じますか。



Q.3 LGBTの人に不快な思いをさせないために、あなたはLGBTについて正しく理解をしたいと思いますか。



Q.4 LGBTの差別をなくすため、日本は、もっと法整備をするべきだと思いますか。



出典：電通「LGBT調査2018結果～基本データ～」 調査対象：スクリーニング調査 20-59歳の個人 60,000名・本調査 20-59歳の個人 6,229名

(※3) ストレートとは、異性愛者のことを指し、セクシュアルマイノリティではない人のこと

(※1) セクシュアリティとは、広い意味では、人間の性のあり方を意味する。狭い意味では、恋愛や性的な興味の対象がどのような性別に向くかを意味する「性的指向」や、自身がどのような性別だと思うのかを意味する「性自認」などを示す言葉として使われる。

身近な情報でLGBTへの理解を深めよう！



- ▶「虹色の朝が来るまで」
監督：今井ミカ
- ▶「彼らが本気で編むときは、」
監督：荻上直子
- ▶「アバウト・レイ 16歳の決断」
監督：ゲイビー・デラル
- ▶「ジェンダー・マリアージュ
～全米を揺るがした同性婚裁判～」
監督：ベン・コトナー、ライアン・ホワイト



- ▶「きのう何食べた？」テレビ東京
- ▶「隣の家族は青く見える」フジテレビ
- ▶「女子的生活」NHK総合
- ▶「弟の夫」NHK BSプレミアム
- ▶「glee」海外ドラマ



- ▶「しまなみ誰そ彼(たそがれ)」(漫画)
出版社：小学館
著者：鎌谷悠希
- ▶「青のフラッグ」(漫画)
出版社：集英社
著者：KAITO
- ▶「いろいろなんなかぞくのほん」(絵本)
出版社：少年写真新聞社
著者：メアリ・ホフマン
イラスト：ロス・アスキス
- ▶「LGBTヒストリーブック
絶対に諦めなかった人々の
100年の闘い」
出版社：サウザンブックス社
著者：ジェローム・ポーレン
翻訳：北丸雄二



- ▶一般社団法人社会的包摂
サポートセンター
「よりそいホットライン」
24時間 365日
☎0120-279-338
- ▶東京弁護士会
「セクシュアル・マイノリティ
電話法律相談」
第2・4木曜日 17～19時
(祝祭日の場合は翌金曜)
☎03-3581-5515
- ▶東京都性自認及び性的指向に
関する専門電話相談
火曜日・金曜日
18時～22時
(祝日・年末年始除く)
☎03-3812-3727

これらLGBTの現状を人権問題

性の多様性を 受け入れるために



これらLGBTの現状を人権問題

「自分は異性しか好きにならない普通の女／男だ」「LGBTは身近にはいないし、自分とは違う。特殊な人たち」という思い込みがもしあるなら、一旦それを脇に置いて、「自分も、社会の中の『当たり前』に当てはまらない部分を持っているかもしれない」と考えてみませんか。

そして、「自分の性のあり方も、多様な性のあり方のうちのひとつなんだ」と気づくことができたら、性別に限らず互いの違いを尊重しあえる、誰もが暮らしやすい共生社会に近づいていくのではないのでしょうか。

ホームレスとなるケースもあります。社内の雰囲気やLGBTに否定的だったり差別的なら、カミングアウトすることもできずに一人で悶々とし、うつ状態に陥る人もいます。また、医療現場や高齢者にあつては、急病のパートナーの病状情報を、親族でないという理由で知らせてもらえない、パートナーの介護保険の申請が認められない、など深刻なケースも報告されています。この問題への対応として、現在、日本では同性パートナーシップ証明制度の導入などを1県26市町村で実施しています(令和2年1月現在)。

として見れば、性の多様性についての正確な知識と理解を社会全体で深めていく必要があります。【図表2】のQ1の割合で考えれば、ひとクラスに2～3人の子どもがこの感覚を持っているということになります。思春期に自分は周りや違うと気付いて悩み始めるLGBTも多いので、その時期に長い時間を過ごす学校の教職員などには、とりわけ適切な理解が求められると言えそうです。そのためには、人間の性にはグラデーションのような様々な形があることを知って、一部のあり方だけを「当たり前」と決めつけるような固定観念を見直していくことが必要なのです。「自分は異性しか好きにならない普通の女／男だ」「LGBTは身近にはいないし、自分とは違う。特殊な人たち」という思い込みがもしあるなら、一旦それを脇に置いて、「自分も、社会の中の『当たり前』に当てはまらない部分を持っているかもしれない」と考えてみませんか。



自分らしく生きる 居場所づくりを

キーワードは 「仲間との出会い」

2016年9月に、「レインボーコミュニティ西東京」は、西東京市で活動するLGBTのネットワーク団体として立ち上げられた。

メンバーの一人Aさんは、小さいころからスカートをはくのに赤いランドセルを背負うのにも違和感があったという。女子として扱われるのがイヤで、男子グループの方が居心地がよかった。子ども時代はそんな思いをうまく表現する言葉も見つからず、もやもやが募るばかりだった。中学生のときに、体は男だけど「ウチは女なんだ」と話す、逆のトランスジェンダーに出会うたことで、性同一性障害について初めて知り、自らの性を認識した。

また、Bさんは30代で「あたしゲイです」とカミングアウト。周囲がLGBTに無理解



レインボーコミュニティ西東京のみなさん

な環境だったので、大学まで親しい人付き合いができず、やはり悶々と過ごしてきた。2018年埼玉県での(年齢不問)のLGBT成人式に誘われ、一気にネットワークが広がり、「カミングアウトしてよかった」と実感。仲間がいる心強さを感じる一方、カミングアウトできずに自らのセクシュアリティを隠して苦しんでいる人たちに何とか呼びかけたいという。「親友にカミングアウトするのに3時間もかかりました」と当時を振り返って苦笑いするのはCさん。それでも相手さんが友人としてそれまでと変わりなく受け入れてくれたことでホッとしたそうです。

実際にはカミングアウトしたことで家族や友人と疎遠に

なり、会社にもいられなくなるといったケースも少なくない。苛酷な実態を知るメンバーたちは、とにかくLGBT当事者が孤立しないよう、仲間が集える場を提案している。

一人ひとりが 幸せのモデルになる

当事者たちが抱える生きづらさを共有して乗り越え、一人ひとりが自分らしくありのままに暮らせる社会を実現する。レインボーコミュニティの目指すところだ。現在の目標は、西東京市でも同性パートナーシップ条例※4が成立して証明書が発行されるようになること。その目標を見すえながら、それぞれのメンバーが交流会に、講演会に、学校に活動を広げている。

特にメンバーが心配なのはセクシュアリティの悩みを抱える未成年。彼らがふらっと立ち寄って情報も得られる場を作りたいという。また、わが子にカミングアウトされたり、LGBTかもしれないと戸惑う保護者たちを受け止める窓

レインボーコミュニティ西東京

レインボーコミュニティ西東京は、LGBTも暮らしやすい多様で魅力的な西東京市になるように、交流会や勉強会の開催、地域行事への参加等を行っています。メールでのお問い合わせも随時受け付けています。(rainbow-community-nishitokyo@outlook.jp)

どうぞお気軽にご連絡ください。また、団体のイベント情報等のお知らせが届くメール会員も募集中です。(QRコードから登録できます)

口も必要だ。役割としての男性・女性を耐えて演じて人生を送ったLGBTの中高年齢者もいる。彼らのケアもなされていない。「異性と結婚して子どもを育てるのがいざばんの幸せ」という社会の幸せ像が、万人のものではないことを今こそ訴えたい。そのためには一人ひとりが自分らしく生きて幸せである姿を家族や友人・社会に見せていけばいい。

2020年1月には、今や全国で開催されるレインボーパレードが埼玉県で開かれる。あわせてLGBT成人式も。LGBTの人たちのネットワークがさらに広がり、社会に根づいていくはずと、メンバーは確信している。

(※4) 戸籍上同じ性の二者間での社会生活において、法律上の婚姻と異ならないほどの関係をパートナーシップと定義。



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介し、男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



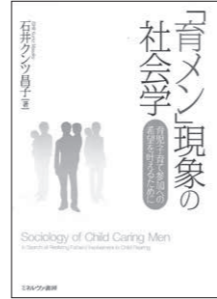
育児は仕事の役に立つ
「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ
著者：浜屋祐子 中原淳
出版社：光文社

育児の経験やスキルが、仕事にどのようにポジティブな影響をもたらすかがテーマ。「育児を通して仕事に活用できる学びをしている」という視点を持つことが大切であり、「ワーク」と「ファミリー」が相乗効果をもたらす可能性を探求している。



自衛隊防災BOOK 2
著者：自衛隊／防衛省 協力
編：マガジンハウス
出版社：マガジンハウス

自然災害が激化している中で、危機管理のプロである自衛隊の129個のノウハウが「大雨」、「地震」等のカテゴリ別にわかりやすく整理されている。個人的には、コンロがなくてもお湯を作る方法が一番参考になった。



「育メン」現象の社会学
著者：石井クツ子
出版社：ミネルヴァ書房

近代日本では少子化対策として男性の育児や子育て参加が啓発されてきました。その一環として男女のワークライフバランスも重要な課題となってきました。育メンに注目することで、父親が育児に参加するようになり、家族に良い結果をもたらすとしています。

パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。2019年11月までの主な事業をご紹介します。



2019年10月2日(水)

訪問看護師が見つめた介護の実際～より良い介護とは～
講師：宮子あずささん

講師の宮子さんは経験豊富な看護師さんで、まず医療政策・制度の仕組みを知ることが大事と話されました。その後二つの事例を基に介護の心構え・工夫についてお話があり、介護する人の心を軽くしてくれる講座でした。



2019年10月26日(土)

無心で描いてリフレッシュ～誰にでも描けるゼンタングル®アート
講師：Momoeさん

参加者の皆さんも初めはちょっと緊張気味でしたが、先生の説明を伺ってシンプルなパターンを集中して描いていくうちに、自由でリラックスした雰囲気。それぞれが十人十色の自分らしい作品を仕上げました。



2019年11月16日(土)

わたしも大事・あなたも大事～知っておこうDVのこと～
講師：米山麻以子さん

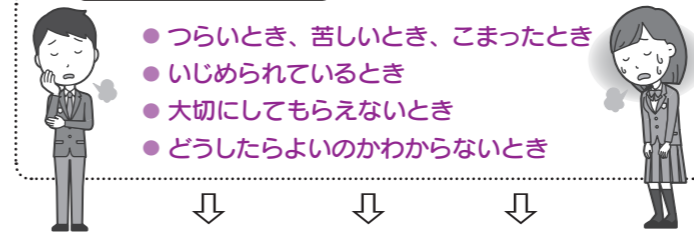
DVの正しい理解が大切だと痛感した2時間。親密なパートナーとの関係性で起こるその元には、力と支配による抑圧の社会構造があること、自分が持つ無意識の偏見の気づき、一方、予防として自分を大切にする、孤立しないことを学びました。

News! 西東京市 子ども相談室「ほっとルーム」ができました!

小学生・中学生・高校生のみなさんへ

友達のこと、学校のこと、勉強や家族のことなど、どんなことでも「ほっとルーム」に気軽に相談してください。

たとえば、こんな時に



子どもの権利擁護委員(CPT:Children Protect Team)がみなさんのお話を聞いて、安心できるまで寄り添います。

一緒に考えます!

子どもの気持ちや意見をゆっくり最後まで聞きます。子ども自身が一番よいと思える方法を一緒に考えます。

一緒に調べます!

子どもの希望に応じて関係する人に話を聞いたり、調査したりすることができます。

意見を伝えます!

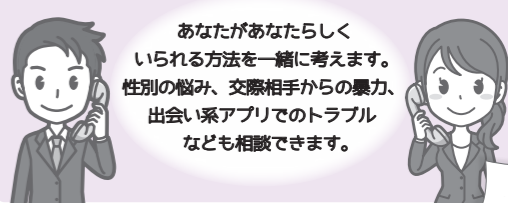
関係する人にこうなればもっとよくなるなど、改善をもとめることができます。

相談受付 月曜～金曜日 午後2時～8時
土曜日 午前10時～午後4時
(日曜日、祝日、年末年始はお休み)

相談電話 フリーダイヤル **0120-9109-77**
なやみなし
電話も相談も無料です。携帯でも大丈夫。

メール相談 メールでの相談はこちらから。
※メールでの相談は返信までに時間がかかることがあります。

相談場所 住吉町6-15-6(地図は8ページにあるよ)
住吉会館ルピナス2階 子ども相談室
会ってお話もできます。
子どもに関するのなら、大人からの相談も受け付けます。



ステキに男女平等参画! 「女性の活躍」編

自分を信じ 人を信じる力を育てたい

みつはし あきこ さん (西東京市在住)



起業のきっかけとなったのは、子育て、仕事、家庭生活に悩んでいた2011年に、自分の人生を自分らしく生きていくためのライフコーチング(※)と出逢ったこと。自分の意識や視点がガラリと変わり、それによって周りも変わって見えました。それまでやりたいこともできず自分を抑えて生きてきた自分が、探し求めていた「何か」にめぐり逢った気がしました。当時、私は2人の子どもを抱え離婚寸前の状態。それでも子どもたちの「お母さん、やりたいことはやった方がいいよ!」という言葉に背中を押され、思い切ってスクールに通い、学びや体験を重ねながら、これまで国際コーチを含む3つのコーチ資格を取得してきました。



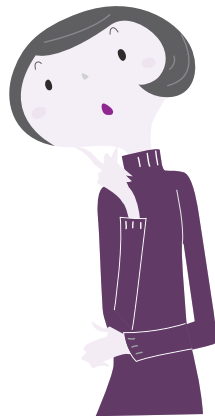
2016年、それまで14年働いてきた大手カード会社を辞め、現在の夫や3人の子どもの応援を得ながらライフコーチとして起業しました。クライアントの大半はママで、相談内容は、ママ自身のライフワーク、家族や子どもとの関係が中心です。私自身が親の離婚や虐待、子育て、ワーキングママ、離婚、シングルマザー、再婚(ステップファミリー)などで悩んできた経験がコーチングを行う上での財産となっています。同じことで悩んでいる人や子どもたちの生きる力を育むお手伝いができたら嬉しいです。

私の最終目標は、自分も人も信じて生きる人を増やすことで、世の中の悲しい事件をなくすこと。今後は、コーチの育成にも力を入れ、仲間とともに教育の現場にコーチングを取り入れていきたいと思っています。

※コーチング: コーチと会話することで、自発的行動を促進し自己実現に繋げるコミュニケーションのこと

こんなささいなことでも
相談しちゃって
いいのかな。

友だちや家族にも話せないし…
安心して話せる場所が
あるといいな。



これってもしかしたら暴力?
モラハラ?

すぐに離婚したいわけじゃないけど、
多少の知識は得ておきたい。

**女性
相談**

悩みなんでも相談(予約制)

予約受付電話: **042-439-0075**

日々の暮らしの中での自分自身のこと、家族のこと、職場や学校での人間関係、パートナーの暴力などで不安を感じて「どうしていいかわからない」というときは、ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

面接による相談ですが、外出が難しい方は予約受付時にご相談ください。

秘密厳守・無料

予約受付時間

月曜日から金曜日…午前9時から午後5時
(木曜日のみ午後8時まで)
※年末年始を除く

場 所

- 住吉会館内 男女平等推進センター パリテ
- 田無庁舎2階 市民相談室(出張相談)

**登録団体
募集中**

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。
団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

活動室

- グループ活動の場や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
- 登録団体は3カ月前(その他の方は2カ月前)から予約申し込みができます。
- 利用時間 午前9時~午後10時

**団体
連絡箱**

グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

Parité 2020年
No.24

愛称「パリテ」とは…フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内
☎ 042-439-0075
- ◆企画運営委員会委員◆ 青木とし代、鎌田陽一、白井香澄、田崎吉則、
秦かおる、松尾友治、横山順一郎、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン

▶ご意見、ご感想をお寄せください。
情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからご覧いただけます。
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp>

● 編集後記 ●

「男女」という分け方は、我々世代には非常に通用感があります。しかしながらマイノリティとは言え、今やLGBT層の割合は9%弱となっています。それだけの数になると、風呂やトイレなどインフラ設備のつくりにも、何らかの工夫があつてしかるべきです。逆にそれ以外は、「男女」を分ける必要がないのではないのでしょうか。時代の潮流は、「男女」という分け方のない世界に早晩なっていくのだ、と思います。

Access

